

令和4年度 第3回学校運営協議会議事要旨

松戸市立小金小学校

○日 時 令和4年10月21日(金) 12:30より

○場 所 小金小学校コミュルーム

○参加者

学校運営協議会委員 出席者(敬称略)

秋山 孝一郎	安達 里季	伊師 嗣迪	上野 久
大橋 康司	大谷 茂範	小野 順子	鈴木 悦朗
関口 貴之	山口 真由美	丸山 達也	堀子 榮
吉野 大介	西郡 泰樹	堀合 竜太	

(15名)

学校運営協議会委員 欠席者(敬称略)

渡辺 勝久	片岡 淳一	志村 雅人
-------	-------	-------

(3名)

○次第

【学校運営協議会】 12時30分より

(1) 給食試食会

栄養士 岩淵敦子より本日の献立や児童の給食の様子についての説明を行ったのち、給食の試食を行った。

〈感想箋より〉

- ・味、量ともに十分。
- ・昭和25年頃の給食とは異なり、大変な質の違いで手数が係って品数も多い。
- ・配膳の様子はどうか。
- ・残さず食べるというマナーはどうか。
- ・子どもの放送での説明、栄養士の説明から給食を食べるのがますます楽しみになった上での給食はとてもおいしかった。
- ・久しぶりの給食で牛乳もとてもおいしかった。
- ・おいしくいただきました。
- ・残菜の問題や食べ方の指導等はあるのか。
- ・味については、ソースかつ丼は大人には甘すぎたが子どもたちは喜ぶのか。
- ・ポテチを混ぜると野菜を食べる子が多いという栄養士の説明に驚いた。
- ・給食でかつ丼を初めて食べたので、メニューにも工夫を感じた。
- ・我が子を含めた周辺の評価では小金小の給食はおいしい。
- ・栄養バランスも整っていて素晴らしい。

(2) 協議

- ①校長あいさつ
- ②会長より
- ③学校より小金小の現状（学習指導、生徒指導、先生方の働き方）について説明
- ④委員による意見交換（要旨）

〈学習指導について〉

- ・学習意欲を持たせるためには体験学習が有効である。
- ・計算や漢字は家庭によるところが大きい。難しい家庭には、地域でサポートができないか。（指導しなくとも、そばで見守る等）
- ・キッズルームの活用も。（子どもの居場所に）
- ・習熟度別学習を取り入れても。
- ・カリキュラムマネジメントが必要。教科書を関連させて学んでいくことが大切。
- ・総合的な学習の時間にも「小金学」を位置づけて、地域の人を学びのサポーターとして位置づけていっては。
- ・子どものなぜ？どうして？を学習問題に据え、子どもたちの学びを作っていく必要がある。（課題解決学習）
- ・学習に意欲を持たせるための工夫を、先生方にがんばってもらいたい。
- ・正解か、不正解かはPCが教えてくれる。学びの工夫を。
- ・認め合い、自己肯定感が高まる授業の工夫を。
- ・大学生の活用は。（交通費＋ α 程度は市教委が負担できないか）
- ・簡単に諦めてしまう子が増えていることが心配。
- ・困り感のある子に時間をとられ、授業全体の進行の妨げになっているのでは。
- ・家庭でのしつけの在り方をもっと発信していても。
習い事…競技や技能を教える場 学校…教育を行う場 しつけは家庭で。
- ・家庭に期待ができない状況も。
- ・親が子どもにけるエネルギーの方向性がどうなのか。
- ・地域性が子どもたちの良さにつながっている。
- ・教師の指導力向上を。（プロ意識をもって）
- ・先生が隙を見せてはいけない。
- ・若い先生方も増えているので、定員＋ α の拳印を配置し、指導力の向上を。
- ・今の学校に余裕が必要。（働き方も）

〈生徒指導〉

◇不登校…子どもの生活の乱れが心配

親のいうことを聞かない

不登校の子を抱える保護者のケアも必要では。

予防のためにも、教科担任制などを活用しみんなで見ていく工夫を。

◇いじめ…子どもが弱くなっている

少しくらい打たれても、負けない子を育てる

小さな状況で学校が把握していることが大切。

〈先生方の働き方〉



○次回の開催予定 令和4年11月19日(土) 10:00より

【内容】

・学校行事「小金っ子まつり」の参観